

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設 (産業の振興に寄与する施設：山崎水路改修工事) 整備事業							
補助事業者名	津山市							
実施場所	津山市大吉地内							
補助事業の成果の目標	本水路は、昭和45年に大吉地区の農業水利施設として整備されたコンクリート水路であるが、老朽化に伴う破損及びひび割れが生じ、漏水が多数発生している。 このため、本用水路を改修することにより、農業活動の環境を整え、周辺住民の生活環境の改善を図る。							
補助事業の内容	実施設計 一式、改修工事 一式							
補助事業の始期及び終期	平成29年度～平成30年度（令和元年度～繰越）							
補助事業及び交付金額		29年度	30年度	年度	年度	年度	年度	計
	事業費	円 3,760,820	円 4,459,280	円	円	円	円	円 8,220,100
	交付金額	円 3,760,000	円 4,459,000	円	円	円	円	円 8,219,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本水路の改修工事を行った結果、漏水被害が改善され、地域住民の生活環境の改善を図れた。また、アンケート調査を実施した結果、「整備前の不満となる点は改善された・おおむね改善された」との評価を得た。 本事業が防衛省の交付金事業であることは、工事看板及びアンケート用紙に記載し地域住民への周知を図った。							
事業の改善策及び今後の対応策	地元住民の要望に応えられるよう引き続き連絡を密にしながら維持管理を進めていく。							
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

注：2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設 (交通施設：広戸14号線道路改良工事) 整備事業							
補助事業者名	津山市							
実施場所	津山市大吉地内							
補助事業の成果の目標	<p>本路線の改良区間においては、カーブがきつく、見通しが悪い状態であり、また既設交差点との取付けもあるため、車両等の円滑な通行に支障をきたしているところである。</p> <p>このため、本路線の改良舗装工事を行うことにより、車両等の円滑な通行を確保することで、地域住民の生活環境の改善を図る。</p>							
補助事業の内容	実施設計 一式、改良工事 一式 舗装工事 一式、用地補償費 一式							
補助事業の始期及び終期	平成28年度～令和元年度							
補助事業及び交付金額		28年度	29年度	30年度	元年度	年度	年度	計
	事業費	円 3,119,896	円 1,077,442	円 13,534,205	円 4,702,618	円	円	円 22,434,161
	交付金額	円 3,119,000	円 1,077,000	円 13,534,000	円 4,702,000	円	円	円 22,432,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本路線の改良舗装工事を行った結果、道路の見通しが改善され、車両の安全かつ円滑な通行が確保され、地域住民の生活環境の改善を図れた。また、アンケート調査を実施した結果、「整備前の不満となる点は改善された・おおむね改善された」との評価を得た。</p> <p>本事業が防衛省の交付金事業であることは、工事看板及びアンケート用紙に記載し地域住民への周知を図った。</p>							
事業の改善策及び今後の対応策	地元住民の要望に応えられるよう引き続き連絡を密にしながら維持管理を進めていく。							
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

注：2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日本原演習場関連公共用施設 (交通施設：広戸72号線道路改良工事) 整備事業							
補助事業者名	津山市							
実施場所	津山市大吉地内							
補助事業の成果の目標	本路線においては道路幅員が狭隘で、特に改良区間は車両同士の離合ができず、また急なカーブが連続しているため、車両の円滑な通行に支障をきたしているところである。 このため、本路線の改良舗装工事を行い、離合困難の解消及び道路線形を見直すことにより、車両の円滑な通行を確保し、地域住民の生活環境の改善を図る。							
補助事業の内容	路線測量 一式、実施設計 一式、改良工事 一式 舗装工事 一式、用地補償費 一式							
補助事業の始期及び終期	平成28年度～令和元年度							
補助事業及び交付金額		28年度	29年度	30年度	元年度	年度	年度	計
	事業費	円 1,518,200	円 5,358,235	円 9,297,248	円 7,862,009	円	円	円 24,035,692
	交付金額	円 1,518,000	円 5,357,000	円 9,297,000	円 7,861,000	円	円	円 24,033,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本件道路改良工事により狭隘であった本路線の拡幅・線形見直しを行い、車両の離合困難解消及び円滑な通行の確保ができた。また、事業完了後に行った地域住民へのアンケート調査を実施した結果、離合困難解消及び円滑な通行の確保ができたことで、生活環境が改善されたとの評価を得た。本事業が防衛省の交付金事業であることは、施工中の工事看板及びアンケート用紙に交付金事業である旨を記載したことにより、地域住民への周知を図ることができた。							
事業の改善策及び今後の対応策	地元住民の要望に応えられるよう引き続き連絡を密にしながら維持管理を進めていく。							
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

注：2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。